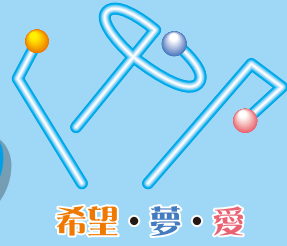


せんだん



「QRコード」から過去の地域だよりをご覧いただけます。

一人も泣く人のいない一人残らずの人が喜ぶ社会づくり



「こんな時代だからこそ地域交流の大切さを強く思う」

希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。先日、ある研修の講師の方がこんな話をされました。地域でイベントが開催され、高齢の方がボランティアで綿菓子を販売されていたことよって行事は中止されました。綿菓子を楽しみに並んでいた子どもたちに綿菓子を作っていた人たちが「ごめんね。ごめんね。せつなく並んで待つてくれたのに」と、一人ひとりの子どもたちに謝られたそうです。その行動を見て、その中の子ども1人が「おじさんやおばさんは悪くないよ。謝る必要もないよ。こんな天候になり、警報が出たんだから中止は仕方ないよ」という言葉をかけたそうです。綿菓子販売していた人たちは、その声を聞いてみんな大粒の涙を流しながら「その言葉に救われた」と、笑顔を取り戻したということでした。日常的に、地域の多くの人との温かい交流の中で他人や自分の大切さを自覚できるように学んでいたら、社会問題となるような痛ましい事件の発生は、少なくなるのではないかと考えて仕方ありませんでした。

そう思えば思う程、地域の人との交流は安心・安全なまちづくりだけでなく、安心・安全な人づくりにもつながる道だと思えます。やはり、そこに地域交流の意義があるのだと思います。痛ましい事件の報道は、本来は「あつてはいけない」と伝えることが目的だと思いますが、今は逆に模倣犯罪を助長しているのではないかと考えます。マスコミ報道の影響力は強いものがあります。ならば日頃の温かい人間模様をもっともっと報道してもらい、日本古来の助け合う日本人の心をさらに拡大していけるような情報発信をしていく必要があるのではないかと思います。

福祉現場においては人材の確保が緊急課題になっておりますが、人と人との心温まるエピソードもたくさんあります。障がいのある人たちの多くが地域交流を望んでおられますし、社会参加の喜びは生きがいなのです。温かい交流は、人から感謝される日常や仕事への道につながるものではないかと考えます。

一れつ会では、地域交流や社会参加の促進を積極的に実施してまいりますので、地域の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ウイズ 管理者 延近善浩



社会福祉法人 一れつ会



- 法人本部
〒720-2419 福山市加茂町字上加茂811番地
TEL : (084)972-5544 FAX : (084)972-5549 IP電話 : 050-3821-0740
HP : <https://www.ichiretsukai.jp> E-mail : itiretu@h2.dion.ne.jp
- 事業所一覧
せんだんの家 (生活介護、就労継続支援B型)
いこいの家 (施設入所支援、生活介護、短期入所、日中一時支援)
ウイズ (就労継続支援A型)
ほほえみ (生活介護)
居宅介護支援センター和らぎ (居宅介護、重度訪問介護、行動援護、移動支援)
ほっと (一般相談支援事業、特定相談支援事業、障害児相談支援事業)
しんぷおにい (生活介護、就労継続支援B型)
春日寮 (施設入所支援、生活介護) かが (短期入所、日中一時支援)
青葉 (生活介護、就労継続支援B型、就労移行支援、自立訓練 (生活訓練))
いすみ (共同生活援助 (グループホーム))
かがやき (放課後児童クラブ)

新型コロナウイルス感染症予防の取り組みについて

新型コロナウイルス感染症は第5類に移行しましたが、重症化リスクが高い人たちが集まる福祉施設においては、施設内で感染が拡がらないような対策をおこなうよう国から求められています。これを踏まえ一れつ会では、引き続き三密回避やマスクの着用、手洗いやうがい、手指消毒や検温、換気の実施、事業所館内や公用車の消毒などの取り組みを続け、感染症予防をしながら活動や行事を行っております。

秋晴れでの運動会 主役は君たちだ！！

記事作成者



せんだんの家
矢田 賢二
(入職7年目)

11月3日(日)に『一れつ会大運動会』を開催しました。前日の大雨が嘘のように当日は晴天に恵まれ、爽やかな秋晴れのもと、『駆け抜けろ！！今日の主役は君たちだ！』をテーマに運動会を行いました。

『徒競走』や『デカパンリレー』、『綱でキャッチ』などいろいろな競技や一れつ会大運動会の見どころの一つでもある『職員リレー』、利用者さんによるソーラン踊りの披露など、みんなが一体となっている光景は雰囲気盛り上げてくれました。

『ダンシング玉入れ』では、音楽に合わせて思い思いに踊り、音楽が止まったら、玉入れのかけをめぐらして玉を投げました。相手チームに負けまいと「入れるぞ！」「入れー！」などと声を出しながら玉入れをする姿が印象的でした。リレー競技では、普段の練習や運動の成果を思いきり発揮されている姿が見られ、観客席からも「頑張れー！」「負けるなー！」などの声援が飛び交いました。利用者さんやご家族、職員をはじめ、応援に駆けつけてくださったご来賓の皆さまと一緒に楽しんで一日でした。

紅白対抗の結果は僅差で赤チームが勝利しましたが、両チームに大きな拍手が贈られました。利用者さんがまた来年、元気に参加できるよう継続して一緒に練習に取り組んでいきたいと思います。



選手宣誓



ゴール！



ゴールまであと少し！



笑顔でダンス！



負けなぞ！



よーく狙って！



よし！当たったぞ！



次はあっちだ！いくよ！



もう少しで私の出番よ



お昼のひととき♪



盛り上がったダンシング玉入れ



Let's dance!



ひっばれ！ひっばれ！



もう少しでバトンパス！



気持ちをあわせて



一生懸命走りました！

秋はやっぱり、旅行でしょ！



グループホームいずみでは、コロナ禍以降見合わせていた少人数での1泊グループ旅行を昨年度から再開しています。10月26日(土)～27日(日)に香川県、11月16日(土)～17日(日)に鳥取県へ2グループが旅行に出掛けました。旅行先ではその土地の観光名所を巡ったり、名物に舌鼓を打ったりと、参加された皆さんは久しぶりの旅行を目一杯満喫されている様子でした。「とても楽しかった」といった声や、「あっという間だったな」と少し名残惜しいような声もあり、皆さん充実したひとときを過ごせたようで、引率した職員も嬉しく感じました。いずみではこれからも利用者さんが充実した生活を送る事が出来るように、様々な企画を実施していきたいと思えます。

記事作成者



いずみ
佐藤 大造
(入職16年目)

香川県



船で満喫★



バイクングをエンジョイ♪



鳥取県



青山剛昌ふるさと館にて♪



鳥取和牛サイコーだったよ♥



青葉 デイキャンプ

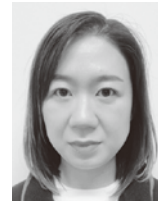
daycamp at aoba

青葉では月に1回、春日寮グラウンドでデイキャンプを行っています。

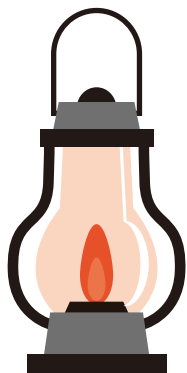
毎回、デイキャンプの準備をしているとタープや焚火台、マルチグリドル等、初めて見るキャンプ道具に「これは何?」「今から何をやるの?」と、皆さん興味深々です♪

焚火でマッシュマロを焼いたり、クレープを作ったりして外の空気を味わいながら、ゆったりとした時間を過ごされています。焚火のパチパチという音を職員と一緒に楽しまれている方もおられ、何よりも、みんなで食べる外での食事は格別で、参加した利用者さんからは、「美味しいね」「クレープ失敗しちゃったけど楽しい」と大好評です！

記事作成者



青葉
鈴木 美月
(入職11年目)



ぽかぽか陽気で気持ちいい♪



外で食べると楽しいね





11月18日(月)に水呑小学校5年生の4クラス112名を対象として車椅子の体験学習を行いました。車椅子体験ではコーンを使用した蛇行運転時の介助、マットを使用した段差の介助、スロープを後ろ向きで降りる介助を体験してもらいました。その後の質疑応答では、「ご飯を食べる時はどうするの?」「雨が降っていたら?」「車椅子を押し時に一番困った事は?」等、たくさんの質問がありました。また、「声掛けの仕方、100点って言われた!」と喜び児童の姿も見られ、学ぶだけでなく車椅子体験を楽しんで頂けたようです。今後も引き続き、福祉・介護現場での感動や触れ合いを、福山市民の方に伝えていきたいと思ひます!



春日寮
奥田 空音
(入職4年目)

子ども参観日

8月7日(水)、職員の子どもを対象に「子ども参観日」を実施しました。本イベントは、保護者の働く姿を見てもらうことで、保護者との関係づくり、仕事・働くということへの興味、福祉への理解等、様々な相互作用を図るため昨年度から実施しており、2回目の開催となりました。暑さが厳しい日でしたが、19名の子どもたちが参加しました。

オリエンテーションでは、加茂・三吉・春日3地区をZOOMで繋ぎ、各事業所の紹介をした後、実際に保護者が働く事業所の見学と仕事体験を行いました。

昼食は加茂地区に集まり、なかなか体験できない生竹を利用した流しそうめんを食べました。子どもたちは準備段階から待ちきれない様子で、とても楽しくにぎやかな食事のひとときを過ごすことができました。

午後からは加茂地区と春日地区でクイズラリーをしました。ラリー終了後は、みんなでおやつタイムを楽しみました。

最初は初めて会うお友だちや年齢も様々なお友だちにドキドキいっぱい、会話もぎこちなかった子どもたちでしたが、この1日の様々な体験と交流を通して徐々に打ち解けていき、最後は仲良くクイズラリーに挑戦している様子を垣間見ることができました。お子さんからは、「たくさん友だちが出来て楽しかった!また来年も参加したい!」、「今度は施設のボランティアとして行ってみたい」という声もいただき、この企画が子どもたちにとって、よい経験になったのではないかと感じています。

記事作成者



いずみ
若竹 紀久子
(入職3年目)

オリエンテーション



職場見学



仕事体験



昼食風景



流しそうめん

レクリエーション



巨大シャボン玉を作ろう



ジェンガ



クイズラリー

掴んだ優勝～消防競技大会出場～



私たち一れつ会職員は、年に一度、福山地区消防組合消防局主催の消防競技大会へ出場しています。災害時など利用者の安全を守る為、初期消火技術の向上や正確且つ迅速な避難行動の習得を目的に、約1か月前から練習を重ねてきました。

大会の競技内容は、用意された様々な障害物を避け、正しい消火・避難者の救出を実施した後、ゴールまで駆け抜け、そのタイムを競い合うものでした。

加茂地区より、せんだんの家・市原支援員、ほほえみ・石田支援員、いこいの家・櫻の3名のチームで出場しました。正直、当日は緊張で手足が震えていま

記事作成者



いこいの家
櫻 裕太
(入職9年目)

したが、「前だけ向いて力を出し切って最後までやり切ろう。目指せ優勝」と声を掛け合い、競技を終えました。

結果は、優勝!!!。嬉しさのあまり大声で叫んでしまいました。チームメンバーと協力し、最後まで諦めない強い気持ちで優勝を手繰り寄せたのではないかと思います。また、事業所の職員からも「おめでとう」と声を掛けてもらい、大変嬉しく思いました。学んだ技術を他の職員と共有し、今後も利用者の安全を守っていききたいと思うきっかけとなった大会でした。



ありがとうございました

(2024.9~2024.11)
(順不同)

●ご寄附

法人本部

- ・福山市第25区民生児童委員協議会様
- ・池本 シツ工様
- ・福田 ミツ子様
- ・鎌刈 拓也様

●ご寄贈

法人本部

- ・株式会社アデリー 渋谷様
- ・浦岡 保夫様
- ・桑原 純様
- ・安原 博敏様

加茂地区/せんだんの家

- ・福山平成大学様
- ・就実大学様

三吉地区/しんぷおにい

- ・林 政博様

- ・三輪 尊教様
- ・福山平成大学様

実習・就業体験実習・職場体験・ボランティア・見学

(2024.9~2024.11)

加茂地区/せんだんの家

- ・実習生
- 福山平成大学様 2名
- 就実大学様 4名
- 日本福祉大学様 1名
- ・就業体験実習
- 広島県立福山北特別支援学校様 1名

加茂地区/ほほえみ

- ・就業体験実習
- 広島県立福山特別支援学校様 1名

加茂地区/ウイズ

- ・実習生
- 福山平成大学様 1名
- 三吉地区/しんぷおにい
- ・実習生
- 穴吹国際みらい専門学校様 4名
- 福山平成大学様 1名
- ・就業体験実習
- 広島県立福山北特別支援学校様 2名
- 広島県立沼隈特別支援学校様 1名

春日地区

- ・見学
- 岡山県立西備支援学校PTA様
- 広島県立福山特別支援学校中学部様
- 春日地区/青葉
- ・就業体験実習
- 広島県立福山北特別支援学校様 6名
- 広島県立沼隈特別支援学校様 1名

音楽とアートを楽しむ会2024 開催!

記事作成者



春日寮
藤原 祐仁
(入職4年目)

11月16日(土)に「音楽とアートを楽しむ会2024」を開催しました。加茂地区、春日地区、三吉地区の3地区の利用者さんが加茂本部に集まり、ステージで福の山音頭や長生きサンバに合わせて歌ったり踊ったりしました。「久しぶりに〇〇さんに会えた」「皆と踊れて楽しかった!」と、利用者さんが喜ぶ様子を見る事が出来ました。各事業所の利用者さんが制作した作品を展示し、投票で優秀作品を決める催しも実施しました。現在、投票結果を集計中です。次号をお楽しみに!



福の山音頭



ミュージックベル



展示作品 (いこいの家)



展示作品 (ほほえみ)



展示作品 (しんぷおにい)



展示作品 (春日寮)

加茂お出かけ支援事業開始

記事作成者



いこいの家
船尾 祥子
(入職11年目)



9月2日(月)より加茂福祉を高める会、加茂まちづくり推進委員会(お出かけ支援事業実行委員会)が中心となり、隔週1回、加茂町内の2ブロックをモデルブロックに指定し、お出かけ支援事業が開始されました。この事業は、近隣の店舗までの移動手段がなく、買い物に不自由されている方々の買い物をお手伝いするものです。私たち社会福祉法人一れつ会も地域貢献の一環として参加しています。法人所有の車両に

「ささえ愛次郎号」ステッカーを貼り、地域の方の買い物を支援しています。

運転する職員は、安全運転はもちろんですが、乗車や降車の際には、「足下に気を付けてくださいね」と一言声を掛けるように心がけています。

買い物支援を利用された方々からの「いつも助かっています」、「安全運転でありがとうね」等のお言葉に私たち職員は励まされ、「ありがとうございます」という感謝の気持ちでいっぱいになるとともに、福祉の仕事に携わって良かったと感じます。



一れつ友の会の会員になってください

一れつ友の会は、社会福祉法人「一れつ会」が、運営する施設や将来計画している施設の運営に協力し、心身障がい者福祉の向上と福祉教育を通して、互いに助け合いの社会づくりを目的としています。

活動推進のために、この会の目的をご理解頂き、友の会への新加入・ご更新をお願いいたします。

○普通会员 1口 500円/月 ○協力会員 お気持ちに応じて

お問い合わせ・お申し込みは一れつ友の会(せんだんの家内)までお願い致します。TEL(084)972-5544